



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 日本化成株式会社  
 コード番号 4007 URL <http://www.nkchemical.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 英輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 関 信哉

TEL 03-5540-5861

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,549	△17.2	669	△54.3	709	△50.3	335	△55.2
23年3月期第2四半期	18,782	10.5	1,463	—	1,426	—	748	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 293百万円 (△59.0%) 23年3月期第2四半期 715百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	3.19	—
23年3月期第2四半期	7.12	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	36,940	11,146	31.0
23年3月期	39,375	11,064	28.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,467百万円 23年3月期 11,334百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00 ～3.00	2.00 ～3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,450	△4.3	1,980	△35.8	2,060	△31.4	1,060	—	10.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	105,115,800 株	23年3月期	105,115,800 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	27,944 株	23年3月期	26,873 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	105,088,425 株	23年3月期2Q	105,090,058 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

(説明資料) 平成24年3月期 第2四半期決算概要

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災後の落ち込みから逐次持ち直してきましたが、欧州債務問題を背景とする海外経済の減速懸念や記録的な円高といった不安要因を抱え、先行き不透明感を強めております。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、アンモニア系製品、電子工業用高純度薬品、ホルマリン、木材加工用接着剤等、震災の影響により販売数量が減少した諸製品が、主要顧客の更なる需要減少或いは復旧の遅れ等により、引き続き厳しい状況で推移する一方、比較的堅調に推移していた機能化学品事業及び無機化学品事業の一部についても第2四半期において販売数量が減少したこと等から、前年同期に比べ、減収・減益となりました。

具体的には、当第2四半期連結累計期間の売上高は、15,549百万円（前年同期比17.2%減）となりました。損益につきましては、営業利益は669百万円（前年同期比54.3%減）、経常利益は709百万円（前年同期比50.3%減）となりました。一方、四半期純利益につきましては、震災による操業停止期間中の固定費等を「災害による損失」として特別損失に計上する一方、小名浜工場ゴム用カーボンブラック製造受託終了に関し、製造委託元から受領した解約金423百万円を特別利益として計上したこと等から335百万円（前年同期比55.2%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### (無機化学品事業)

硝酸をはじめとするアンモニア系製品は、震災により硝酸製造設備が損傷し操業停止したことに加え、主要顧客の需要が減少したこと等により、販売数量、売上高とも減少しました。ゴム用カーボンブラックは、震災による設備損傷等により操業停止を余儀なくされ、製造終了を決定しましたが、一部在庫の販売を行いました。合成石英粉は、販売数量、売上高は前年同期並みとなりましたが、第2四半期において半導体関連分野の需要減少等の影響が見られました。ディーゼル車脱硝用高品位尿素水（アドブルー）は、市場競争の激化により、販売数量、売上高とも減少しました。

その結果、全体の売上高は7,099百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

#### (機能化学品・化成事業)

タイク（ゴム、プラスチック架橋助剤）は、販売数量、売上高とも前年同期を上回りましたが、第2四半期において主要顧客の需要減少等の影響が見られました。脂肪酸アמידは震災の影響等により、また、電子工業用高純度薬品は需要の減少及び一部主要顧客の復旧の遅れ等により、何れも販売数量、売上高が大幅に減少しました。

メタノールは、販売数量、売上高とも増加しましたが、ホルマリンは主要顧客の需要減少により、木材加工用接着剤は主要顧客の復旧の遅れ等により、何れも販売数量、売上高とも大幅に減少しました。

その結果、全体の売上高は5,762百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

#### (エンジニアリング事業)

小名浜工場の被災設備復旧をはじめとする諸対応に注力する中で、一般プラント工事の受注が相対的に減少しましたが、震災の影響等により大型工事事案が前期から当期に検収ずれしたこと及び下期検収予定の一部案件が上期に前倒しされたこと等により、売上高は1,933百万円（前年同期比47.0%増）となりました。

#### (その他)

貨物運送・荷役事業は、震災による設備損傷及び主要顧客の被災等により、売上高が減少しました。有機溶剤等の蒸留・精製業は、処理量の減少、震災による設備損傷、主要顧客の復旧の遅れ等により、売上高が減少しました。産業廃棄物処理関連業は、震災による設備損傷等により操業停止を余儀なくされ、8月末日をもって事業撤退いたしました。

その結果、全体の売上高は675百万円（前年同期比47.6%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比し2,435百万円減少し、36,940百万円となりました。これは、主にたな卸資産等が増加したものの、現金及び預金並びに売上債権等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比し2,517百万円減少し、25,794百万円となりました。これは、主に流動負債のその他等が増加したものの、仕入債務及び災害損失引当金等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比し82百万円増加し、11,146百万円となりました。これは、主に四半期純利益等による増加が支払配当金等による減少を上回ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は31.0%（前連結会計年度末は28.8%）となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、たな卸資産の増加及び仕入債務の減少等による支出が、減価償却費及び売上債権の減少等による収入を上回り、その結果、資金残高は前連結会計年度末より1,563百万円減少(45.1%減)し、1,905百万円(前年同四半期比660百万円増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、460百万円(前年同四半期比2,330百万円の支出増)となりました。これは、主にたな卸資産の増加及び仕入債務の減少等による支出が、減価償却費及び売上債権の減少等による収入を上回ったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、507百万円(前年同四半期比60百万円の支出増)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、596百万円(前年同四半期比918百万円の支出減)となりました。これは、主に短期借入金の返済及び配当金の支払いによる支出等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、去る平成23年10月28日に発表した「業績予想の修正に関するお知らせ」において予想数値を修正しましたとおり、震災の影響或いは全般的な需要減少等により販売数量が落ち込んだこと等から、売上高は前回発表(平成23年5月12日)に比べ減少しました。一方、損益につきましては、震災による操業停止期間中の固定費等を「災害による損失」として特別損失に計上したこと等により、営業利益及び経常利益が前回発表に比べ増加し、また、四半期純利益につきましても、ゴム用カーボンブラック製造受託終了に関し、製造委託元から受領した解約金423百万円を特別利益として計上したこと等から、増加しました。

今後の見通しにつきましては、世界経済の変調による不透明感の強まり、記録的な円高、当社主要顧客の需要動向など、種々の不確定要素を抱え、取り巻く諸環境は、先行き予断を許さない状況が継続すると想定されますが、当社グループといたしましては、秋口以降、震災前の業績軌道に戻すという当初道筋に沿って引き続き前進することとしております。

こうした状況を踏まえ、平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では、平成23年5月12日に発表した内容から変更しておりません。

なお、今後の状況変化に伴い見直しが必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,468	1,905
受取手形及び売掛金	10,171	8,089
商品及び製品	2,059	2,807
仕掛品	1,160	1,768
原材料及び貯蔵品	1,470	1,472
その他	2,524	2,772
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	20,842	18,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,148	3,280
機械装置及び運搬具(純額)	2,866	3,138
土地	6,941	6,941
建設仮勘定	1,192	524
その他(純額)	177	179
有形固定資産合計	14,324	14,062
無形固定資産		
その他	63	64
無形固定資産合計	63	64
投資その他の資産		
その他	4,170	4,035
貸倒引当金	△24	△25
投資その他の資産合計	4,146	4,010
固定資産合計	18,533	18,136
資産合計	39,375	36,940

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,635	5,703
短期借入金	10,957	10,675
未払法人税等	728	129
賞与引当金	356	344
災害損失引当金	2,759	1,831
その他	2,401	2,792
流動負債合計	23,836	21,474
固定負債		
長期借入金	1,020	917
退職給付引当金	2,989	2,984
役員退職慰労引当金	95	86
事業整理損失引当金	61	38
その他	310	295
固定負債合計	4,475	4,320
負債合計	28,311	25,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593	6,593
利益剰余金	4,751	4,876
自己株式	△5	△6
株主資本合計	11,339	11,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	4
その他の包括利益累計額合計	△5	4
少数株主持分	△270	△321
純資産合計	11,064	11,146
負債純資産合計	39,375	36,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	18,782	15,549
売上原価	14,402	12,249
売上総利益	4,380	3,300
販売費及び一般管理費	2,917	2,631
営業利益	1,463	669
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	77	88
持分法による投資利益	11	—
受取賃貸料	31	31
その他	27	82
営業外収益合計	146	202
営業外費用		
支払利息	67	58
持分法による投資損失	—	88
減価償却費	75	—
その他	41	16
営業外費用合計	183	162
経常利益	1,426	709
特別利益		
受取補償金	—	423
特別利益合計	—	423
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	159	—
ゴルフ会員権評価損	15	—
災害による損失	—	519
投資有価証券評価損	—	24
特別損失合計	174	543
税金等調整前四半期純利益	1,252	589
法人税、住民税及び事業税	534	11
法人税等調整額	△19	294
法人税等合計	515	305
少数株主損益調整前四半期純利益	737	284
少数株主損失(△)	△11	△51
四半期純利益	748	335



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	737	284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	9
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△22	9
四半期包括利益	715	293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	726	344
少数株主に係る四半期包括利益	△11	△51

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,252	589
減価償却費	916	741
投資有価証券評価損益(△は益)	—	24
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	159	—
ゴルフ会員権評価損	15	—
災害損失	—	519
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	△12
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△30	△5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△22	△9
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△23
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	0
受取利息及び受取配当金	△77	△89
支払利息	67	58
持分法による投資損益(△は益)	△11	88
固定資産除却損	4	1
売上債権の増減額(△は増加)	141	2,082
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,131	△1,358
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△76	△433
仕入債務の増減額(△は減少)	746	△1,640
その他の流動負債の増減額(△は減少)	224	335
その他	7	△19
小計	2,185	849
利息及び配当金の受取額	86	94
利息の支払額	△69	△58
災害損失の支払額	—	△739
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△332	△606
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,870	△460
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△434	△396
有形固定資産の売却による収入	3	2
無形固定資産の取得による支出	△4	△14
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	△90
長期前払費用の取得による支出	△8	△8
その他	△3	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△447	△507
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,200	△282
長期借入金の返済による支出	△103	△103
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△210	△210
少数株主への配当金の支払額	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,514	△596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△95	△1,563
現金及び現金同等物の期首残高	1,340	3,468
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,245	1,905

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	無機化学 品事業 (百万円)	機能化学 品・化成品 事業 (百万円)	エンジニア リング事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	8,994	7,061	1,315	17,370	1,289	18,659	123	18,782
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	18	47	65	120	185	△ 185	-
計	8,994	7,079	1,362	17,435	1,409	18,844	△ 62	18,782
セグメント利益 又は損失(△)	732	730	4	1,466	△ 28	1,438	25	1,463

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送・荷役事業、サービス関連業(熱供給業、有機溶剤等の蒸留・精製業、産業廃棄物処理関連業等)を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額

	金額(百万円)
電気及び蒸気の販売による利益	3
その他の調整額※1	106
全社費用※2	△ 84
合計	25

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	無機化学 品事業 (百万円)	機能化学 品・化成品 事業 (百万円)	エンジニア リング事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	7,099	5,762	1,933	14,794	675	15,469	80	15,549
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	4	90	94	126	220	△ 220	-
計	7,099	5,766	2,023	14,888	801	15,689	△ 140	15,549
セグメント利益 又は損失(△)	218	234	210	662	△ 79	583	86	669

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送・荷役事業、サービス関連業(熱供給業、有機溶剤等の蒸留・精製業、産業廃棄物処理関連業等)を含んでおりません。

## 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額

	金額(百万円)
電気及び蒸気の販売による損失(△)	△ 13
その他の調整額※1	169
全社費用※2	△ 70
合計	86

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成24年3月期 第2四半期決算概要

日本化成株式会社

1. 連結業績

[単位:百万円]

	当第2四半期 連結累計期間 (H23.4.1- H23.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H22.4.1- H22.9.30)	増減	
			金額	率
売上高	15,549	18,782	△ 3,233	-17.2%
営業利益	669	1,463	△ 794	-54.3%
金融収支	31	10	21	※1
その他営業外	97	△ 58	155	※2
持分法損益	△ 88	11	△ 99	
経常利益	709	1,426	△ 717	-50.3%
特別損益	△ 120	△ 174	54	※3
税引前利益	589	1,252	△ 663	-53.0%
四半期純利益	335	748	△ 413	-55.2%
1株当り四半期純利益	3円19銭	7円12銭		

※1金融収支の内訳

	H23/9	H22/9	差
受取配当金	88	77	11
支払利息	△58	△67	9

※2その他営業外差異主な内訳

	H23/9	H22/9	差
減価償却費	—	△75	75
雇用調整助成金	37	—	37

※3特別損益主な内訳

	当第2 四半期	前年同 四半期
受取補償金	423	—
災害による損失(注)	△ 519	—
投資有価証券評価損	△ 24	—
資産除去債務会計適用影響額	—	△ 174
計	△ 120	△ 174

(注)内訳：震災による操業停止期間中の固定費等

①セグメント別売上高 (連結)

報告セグメント	当第2四半期 連結累計期間 (H23.4.1- H23.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H22.4.1- H22.9.30)	増減	
機能化学品・化成品	5,762	7,061	△ 1,299	
エンジニアリング	1,933	1,315	618	
その他	675	1,289	△ 614	
調整額	80	123	△ 43	上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の売上高を調整額として表示
計	15,549	18,782	△ 3,233	

②セグメント別営業利益 (連結)

報告セグメント	当第2四半期 連結累計期間 (H23.4.1- H23.9.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H22.4.1- H22.9.30)	増減	
機能化学品・化成品	234	730	△ 496	
エンジニアリング	210	4	206	
その他	△ 79	△ 28	△ 51	
調整額	86	25	61	上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の損益を調整額として表示 (含みらいプロジェクト開発費用 H23第2Q △75 H22第2Q △60)
計	669	1,463	△ 794	

2. 連結比較貸借対照表

	当第2四半期 連結会計期間末 (H23.9.30)	前連結会計 年度末 (H23.3.31)	増減		当第2四半期 連結会計期間末 (H23.9.30)	前連結会計 年度末 (H23.3.31)	増減
たな卸資産	6,047	4,689	1,358	営業債務他 ※2	14,202	16,334	△ 2,132
営業債権他 ※1	10,852	12,685	△ 1,833	株主資本	11,463	11,339	124
固定資産(有形・無形)	14,126	14,387	△ 261	その他の包括利益累計額	4	△ 5	9
投融資等	4,010	4,146	△ 136	少数株主持分	△ 321	△ 270	△ 51
資産合計	36,940	39,375	△ 2,435	負債・純資産合計	36,940	39,375	△ 2,435

(注)自己資本=純資産-少数株主持分

D/Eレシオ=有利子負債/自己資本

自己資本	11,467	11,334	133
自己資本比率	31.0%	28.8%	2.2%
有利子負債	11,592	11,977	△ 385
D/Eレシオ	1.01	1.06	△ 0.05

※1 増減内訳：売上債権 △2,082、未収入金他 +249

※2 増減内訳：仕入債務 △932、災害損失引当金 △928、未払法人税等他 △272

### 3. 連結キャッシュ・フロー

(参考)

	当第2四半期 連結累計期間 (H23.4.1- H23.9.30)	前年同四半期連 結累計期間 (H22.4.1- H22.9.30)
営業活動によるCF	△460	1,870
投資活動によるCF	△507	△447
フリー・キャッシュ・フロー	△967	1,423
財務活動によるCF	△596	△1,514
現金及び現金同等物に係る 換算額	0	△4
現金及び現金同等物の増減	△1,563	△95

売上債権減 2,082、減価償却費 741、税前利益 589、災害損失 519、仕入債務減 △1,640  
たな卸資産増 △1,358、災害損失の支払額 △739、法人税等の支払額他 △654

設備投資 △410、短期貸付等 △97

借入金の返済 △385、配当金の支払等 △211

### 4. 連結通期業績予想(平成23年5月12日発表)

	24年3月期	23年3月期	増減	
	予想	実績	金額	率
売上高	37,450	39,118	△ 1,668	-4.3%
営業利益	1,980	3,086	△ 1,106	-35.8%
経常利益	2,060	3,005	△ 945	-31.4%
特別損益	△ 300	△ 4,753	4,453	
税前損益	1,760	△ 1,748	3,508	-
当期純利益	1,060	△ 961	2,021	-
1株当り当期純利益	10円09銭	△9円14銭		
1株当り配当金(期末のみ)	2~3円	2円		

※特別損益(予想)の主な内訳

	24年3月期 予想	23年3月期 実績
災害による損失	-	△ 4,387
資産除去債務会計適用影響額	-	△ 159
固定資産処分損	△ 300	△ 103
減損損失	-	△ 53
その他	-	△ 51
計	△ 300	△ 4,753

#### ①セグメント別売上高(連結)

		24年3月期 予想	23年3月期 実績	増減	
報告セグメント	無機化学品	16,400	18,671	△2,271	ゴム用カーボンブラックの製造終了に伴う販売数量減及び震災によるアノニア系製品販売数量減等による減収
	機能化学品・化成品	15,100	14,134	966	タイヤ(ゴム、プラスチック架橋助剤)及びその他機能化学品等の販売数量増
	エンジニアリング	3,900	3,601	299	一般プラント工事受注増
その他		1,850	2,491	△641	産業廃棄物処理関連業の事業撤退に伴う減収等
調整額		200	221	△21	
計		37,450	39,118	△1,668	

#### ②セグメント別営業利益(連結)

		24年3月期 予想	23年3月期 実績	増減	
報告セグメント	無機化学品	550	1,542	△ 992	ゴム用カーボンブラックの製造終了及びアノニア系製品の販売数量減等により減益
	機能化学品・化成品	1,180	1,423	△ 243	化成品関連の販売数量減等に伴い減益
	エンジニアリング	250	82	168	一般プラント工事受注増により増益
その他		△ 50	△ 18	△ 32	有機溶剤等の蒸留・精製業における処理量減等により減益
調整額		50	57	△ 7	
計		1,980	3,086	△ 1,106	